

ふじみ野市総合振興計画策定のための 市民意識調査報告書（概要版）

平成 18 年 3 月

ふじみ野市総合政策部総合政策室政策係

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1 ふじみ野市役所第 1 庁舎 3 階

電話：049-261-2611（内線 345・346）ファックス：049-266-6245

E-mail：seisaku@city.fujimino.saitama.jp

1 調査の概要について

（1）調査の目的

ふじみ野市の将来を展望した、まちづくりの基本となる「ふじみ野市基本構想」および、前期 5 年間の計画である「前期基本計画」の策定に際し、市民の市政に対する意見や思いを把握するものとします。

（2）調査方法

①調査地域：ふじみ野市全域

②調査対象：市内在住の満 20 歳以上の男女個人（平成 18 年 1 月 1 日現在）

③標本数：3,000 人

④抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出

⑤配布・回収方法：郵送配布、郵送回収

⑥実施期間：2006 年 2 月 8 日～2 月 28 日

（3）回収結果

有効回収数：1,232 票（有効回収率 41.1%）

集計と分析にあたって

- ①回答割合は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100%にならない場合があります。
- ②複数回答の設問の場合、すべての回答割合を合計すると 100%を超える場合があります。
- ③基数となるべき実数（N）は、特に記述のない限り、有効回収数とします。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、調査票記載の語句を短縮・簡略化している場合があります。

2. 調査結果について

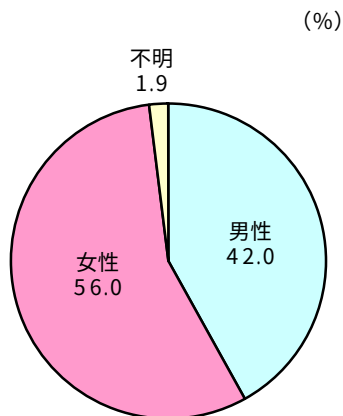
回答者の属性

(1) 性別・年代

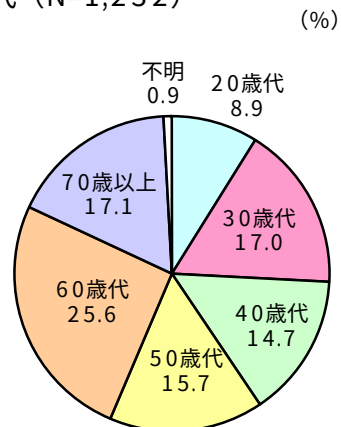
性別では、女性（56.0%）が男性（42.0%）を大きく上回っています。

年代では、「60歳代」（25.6%）で、「70歳以上」（17.1%）と合わせて、4割以上が60歳以上の回答者となっています。

■性別（N=1,232）



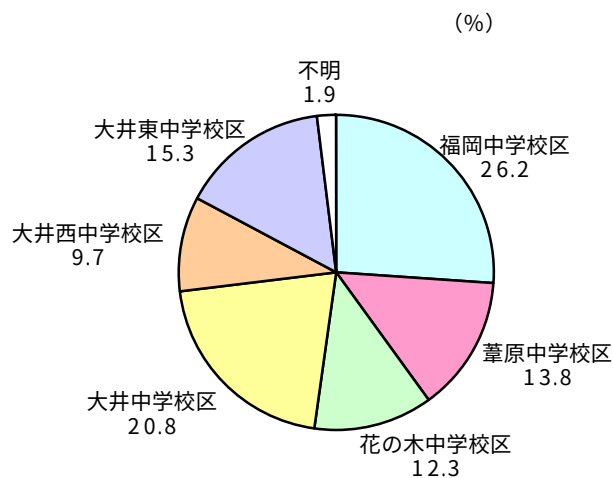
■年代（N=1,232）



(2) 居住地区

居住の中学校区をたずねたところ（地区割については下段（注）参照）、「福岡中学校区」（26.2%）、「大井中学校区」（20.8%）、「大井東中学校区」（15.3%）の順となっています。

■居住地区（N=1,232）

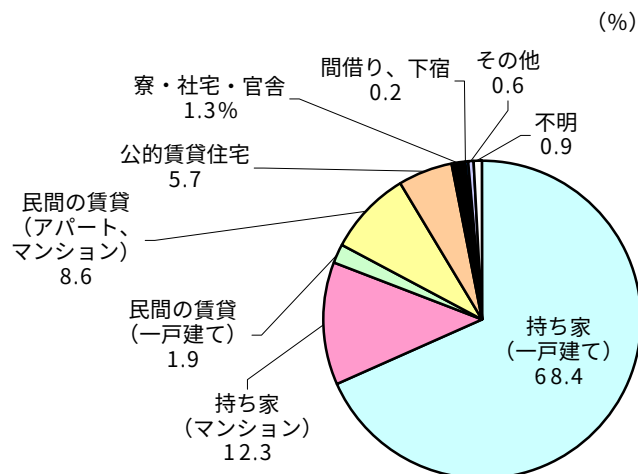


（注）地区割の方法について
居住の中学校区が不明な場合は、
住まいの町名、字名を選択し、中
学校区の範囲に近い形で振り分け
を行いました。

(3) 居住形態

持ち家（一戸建て）（68.4%）が他の項目を大きく上回り、全体の 3 分の 2 以上を占めています。

■居住形態（N=1,232）

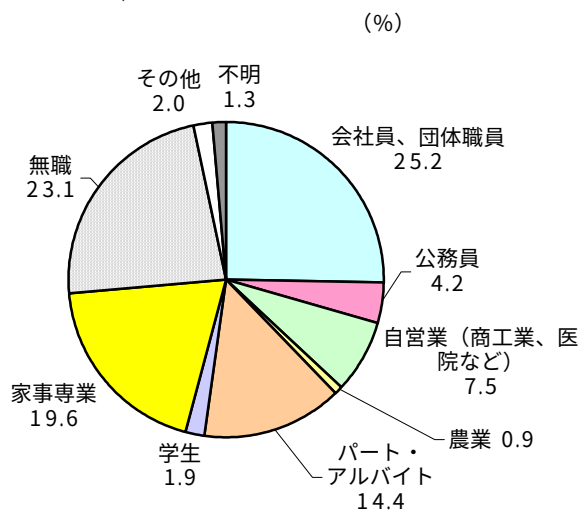


(4) 職業と通勤・通学先

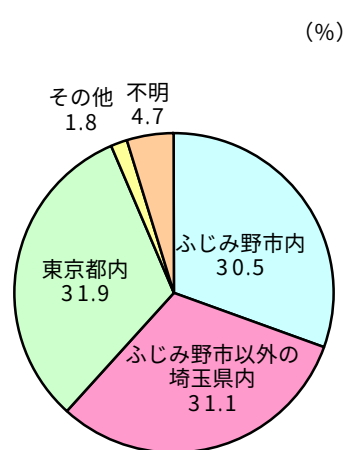
「会社員、団体職員」（25.2%）、「無職」（23.1%）、「家事専業」（19.6%）の順で、回答割合が高くなっています。

「職業」の設問において、「会社員、団体職員」「公務員」「自営業（商工業、医院など）」「農業」「パート・アルバイト」「学生」のいずれかを選択した回答者に対し、通勤・通学先をたずねたところ、「東京都内」（31.9%）と「ふじみ野市以外の埼玉県内」（31.1%）、「ふじみ野市内」（30.5%）が、ほぼ同割合となっています。

■職業（N=1,232）



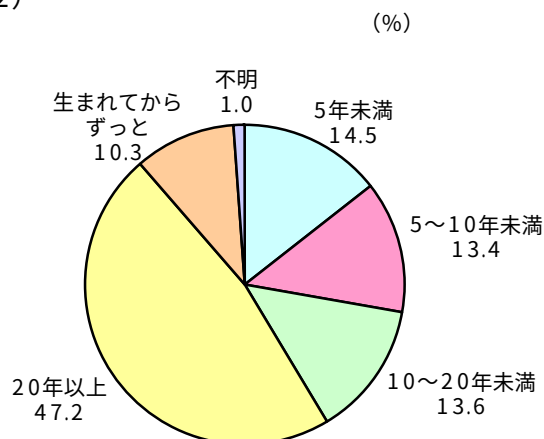
■通勤・通学先（N=665）



(5) 居住年数

「20 年以上」(47.2%) が他の項目を大きく上回り、約 5 割を占めています。一方、「生まれてからずっと」(10.3%) は 1 割程度にとどまっています。

■居住年数 (N=1,232)

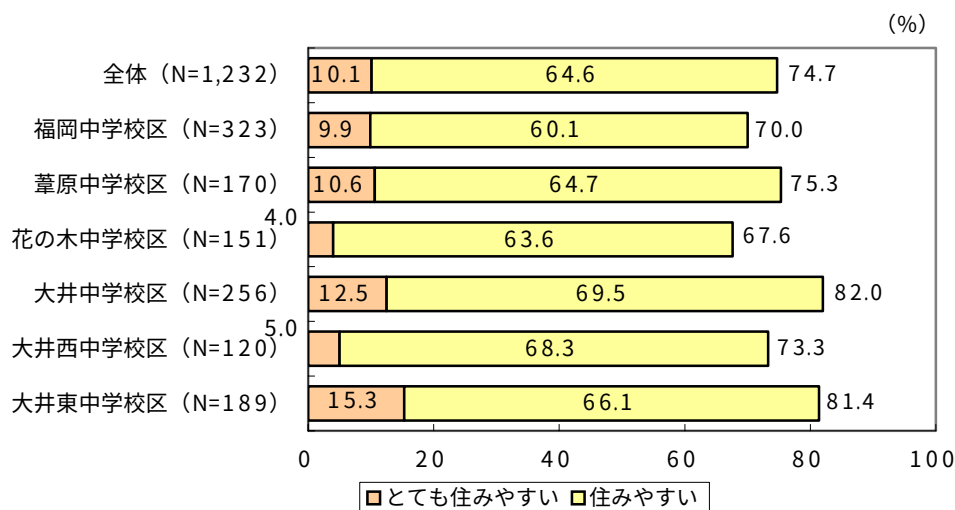


ふじみ野市の住みやすさ、今後の居留意向について

(6) ふじみ野市の住みやすさ：回答者の約 4 分の 3 が住みやすさを実感

「住みやすい」(64.6%) と「とても住みやすい」(10.1%) を合わせると、回答者の約 4 分の 3 が、ふじみ野市が住みやすいまちであると感じています。居住地区別では、「大井中学校区」と「大井東中学校区」で、「とても住みやすい」と「住みやすい」を合わせると、8 割以上の回答者が住みやすいと感じています。一方、「花の木中学校区」では、「とても住みやすい」と「住みやすい」を合わせても 67.6%にとどまっています。

■ふじみ野市の住みやすさ (全体、居住地区別)



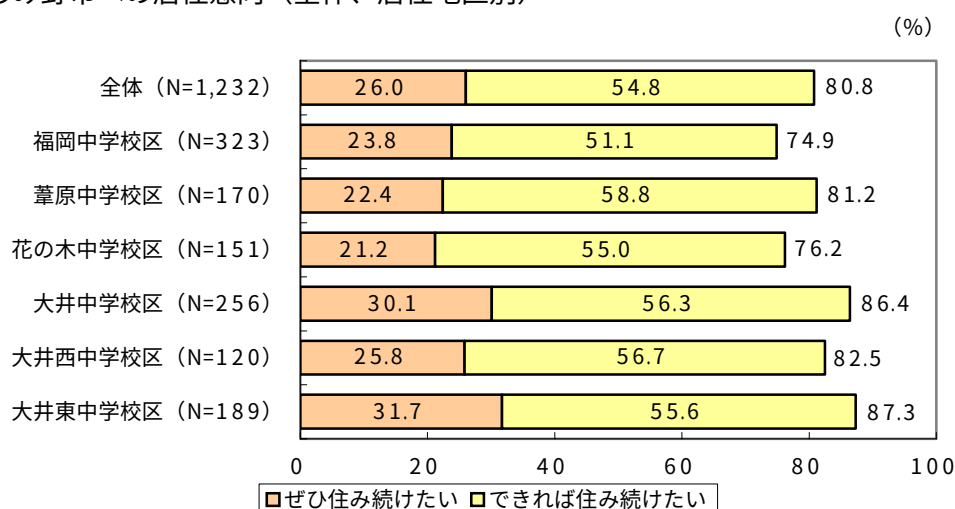
(7) ふじみ野市への居留意向と引っ越したい理由

①居留意向：回答者の約 8 割が今後も居住の意向

「ぜひ住み続けたい」(26.0%)と「できれば住み続けたい」(54.8%)を合わせると、回答者の 8 割が、今後もふじみ野市への居留意向を持っていることがうかがえます。

居住地区別で、「ぜひ住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた定住意向の割合が高いのは、「大井東中学校区」(87.3%)、「大井中学校区」(86.4%)となる一方、定住意向が比較的低いのは「福岡中学校区」(74.9%)となっています。

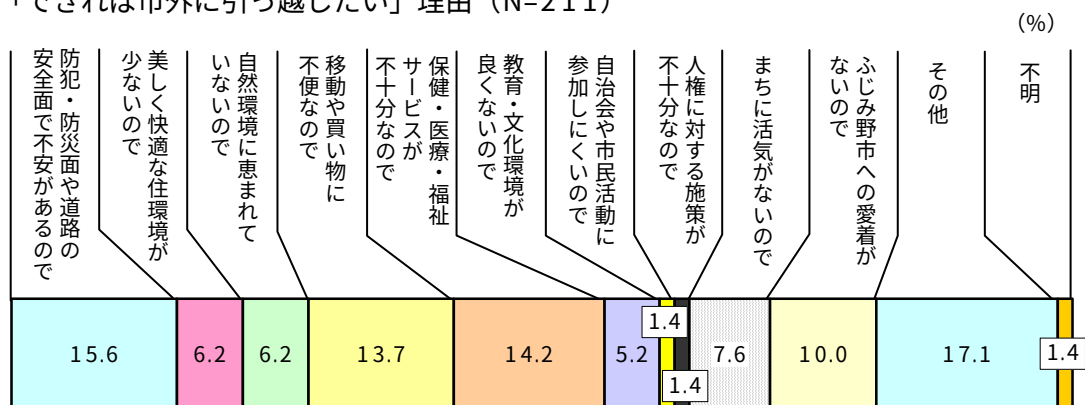
■ふじみ野市への居留意向（全体、居住地区別）



②引っ越したい理由：防犯・防災面や道路の安全面への高い不満

ふじみ野市への居留意向に関する設問で「できれば市外に引っ越したい」を選択した回答者に、その理由をたずねたところ、「防犯・防災面や道路の安全面で不安があるので」(15.6%)や「保健・医療・福祉サービスが不十分なので」(14.2%)、「移動や買い物に不便なので」(13.7%)の割合が高くなっています。

■「できれば市外に引っ越したい」理由（N=211）



施策別満足度、重要度について

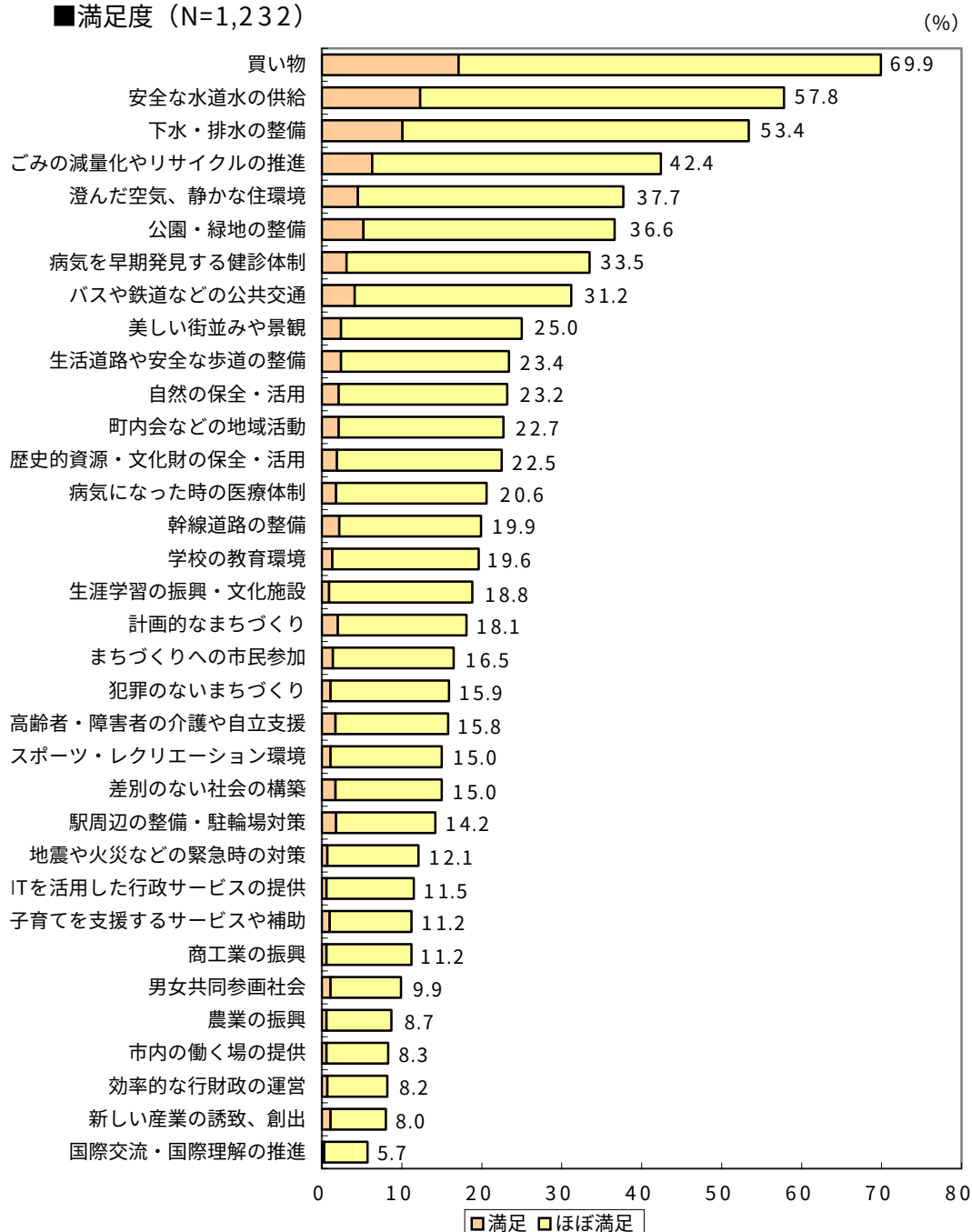
(8) まちづくりの満足度と重要度

まちづくりに関する、「健康」「安全」「快適」「利便性」「環境」「教育・文化」「活力」「人権」「市政・参加」の9分野の34項目のそれぞれについてたずねました。

①満足度：買い物への高い満足

「満足」と「ほぼ満足」を合わせた満足割合が高いのは「買い物」(69.9%)で、「安全な水道水の供給」(57.8%)、「下水・排水の整備」(53.4%)が続いています。一方、満足割合が最も低いのは、「国際交流・国際理解の推進」(5.7%)で、「新しい産業の誘致、創出」(8.0%)、「効率的な行財政の運営」(8.2%)が続いています。

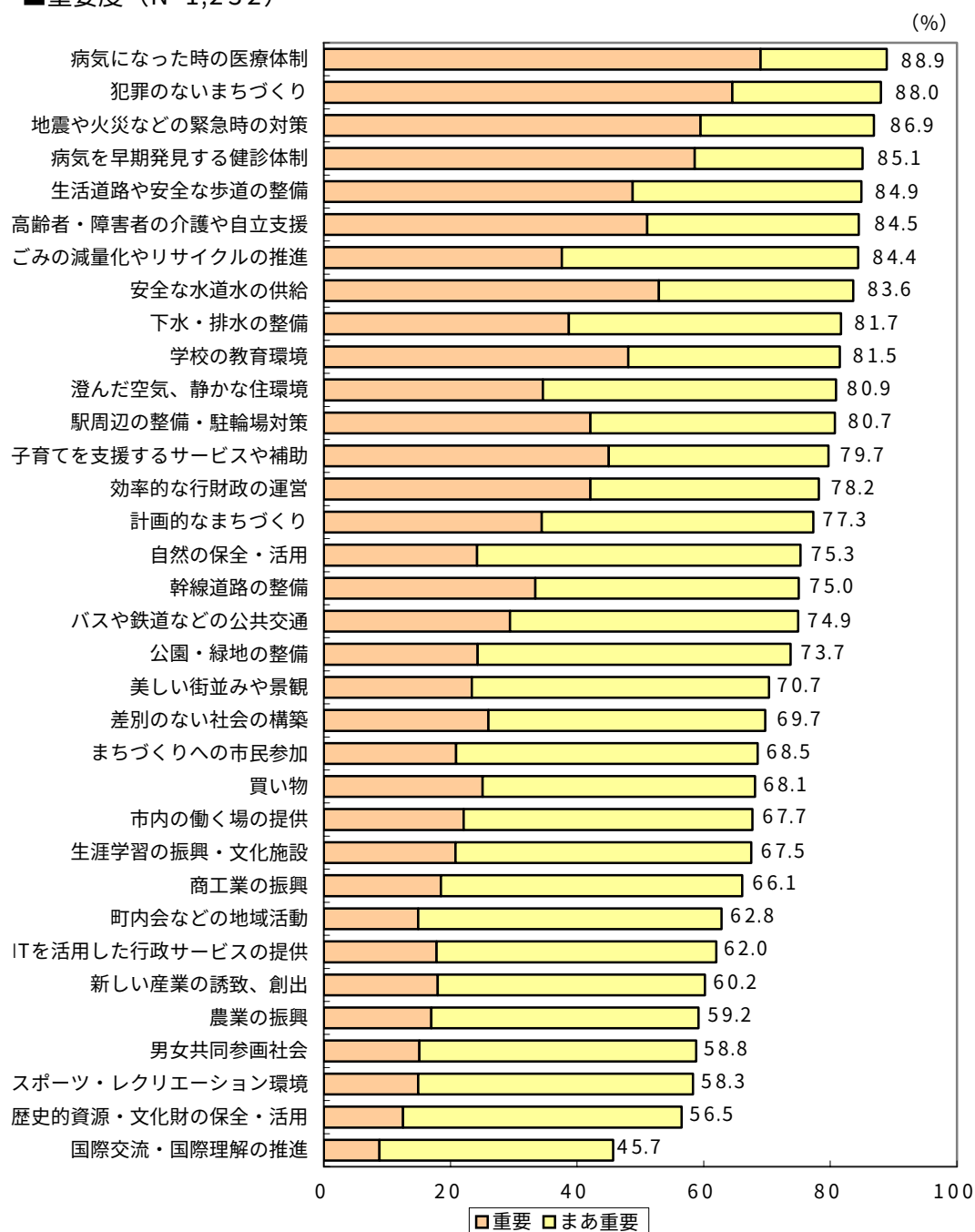
■満足度 (N=1,232)



②重要度：安心・安全への強い関心

「重要」と「まあ重要」を合わせた重要が高いのは、「病気になった時の医療体制」(88.9%)で、「犯罪のないまちづくり」(88.0%)、「地震や火災などの緊急時の対策」(86.9%)が続いています。一方、重要割合が最も低いのは、「国際交流・国際理解の推進」(45.7%)で、「歴史的資源・文化財の保全・活用」(56.5%)、「スポーツ・レクリエーション環境」(58.3%)が続いています。

■重要度 (N=1,232)

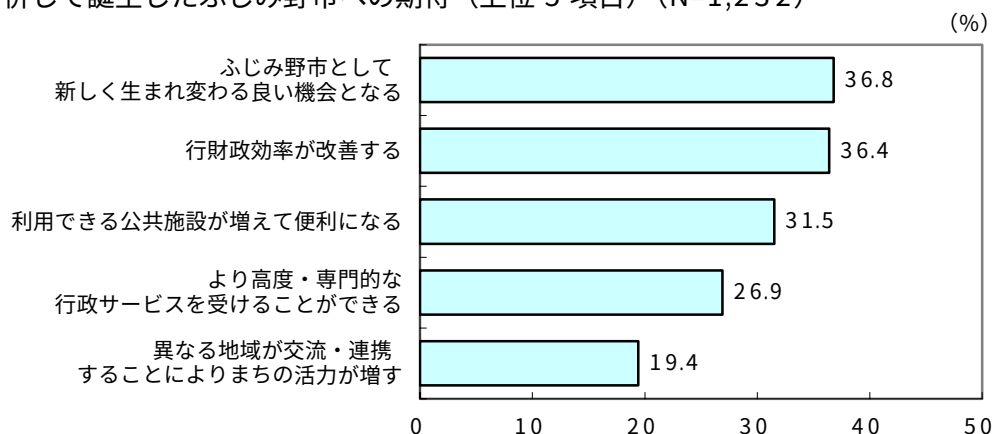


今後のまちづくりについて

(9) 合併して誕生したふじみ野市への期待：新たな旅立ちへの期待

合併して新しく誕生したふじみ野市に対して期待することを 3 つまで選んでもらったところ、「ふじみ野市として新しく生まれ変わる良い機会となる」(36.8%)と「行財政効率が改善する」(36.4%)がほぼ同割合で、「利用できる公共施設が増えて便利になる」(31.5%)などが続いています。

■合併して誕生したふじみ野市への期待（上位 5 項目）（N=1,232）



(10) ふじみ野市民としてよりよいまちづくりのためにできること：祭りやイベントへの参加意欲の高まり

ふじみ野市民として、よりよいまちづくりのためにどのようなことができているのかをたずねたところ、「上福岡七夕まつり、おい祭り、産業祭などの祭りやイベントなどに参加する」(22.8%)が最も高く、「町内会・自治会活動に参加する」(18.3%)、「趣味や経験を活かし、個人的に指導や貢献をする」(11.4%)が続いています。

■ふじみ野市民としてよりよいまちづくりのためにできること（N=1,232）

